

# 校報 ねどる

岩出市立根来小学校  
学校だより No.10  
令和3年9月10日  
文責：柏木



## オンライン授業の前に…

2学期がスタートして10日が過ぎました。子どもたちの生活リズムも戻ってきたようです。また同時に、新学期が始まってからの疲れも見られる時期でもあります。体調管理は、毎日の基本的な生活習慣があってからこそです。疲れたなという時は、バランスの良い食事を3食とり、テレビやゲームなどの刺激を控え早めに休むようにしましょう。

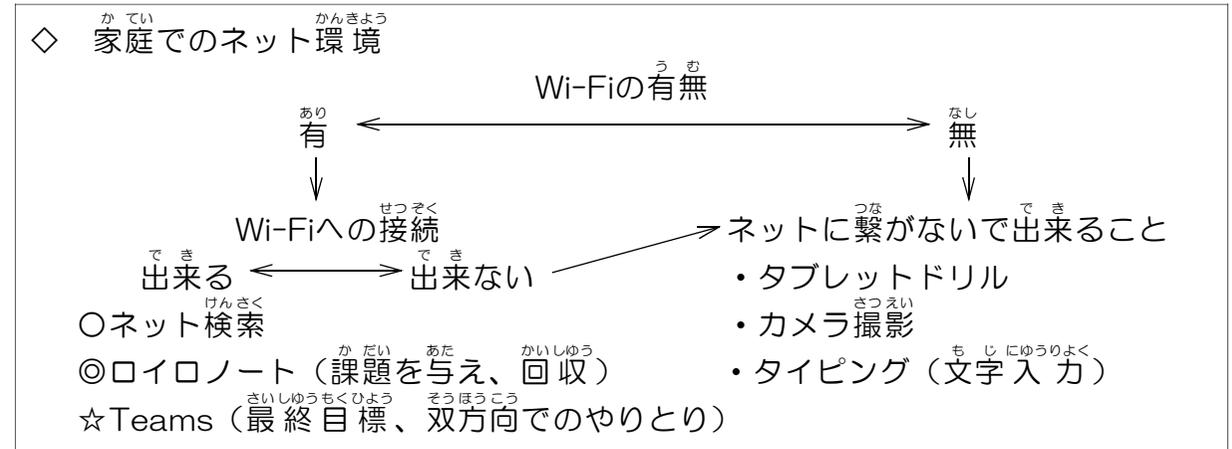
9月1日の始業式は、各教室をオンラインで繋いで行いました。以前も放送による始業式や終業式を行いましたが、音声だけではなくタブレットパソコン越しにスライド等を提示しながら話すことができ、新たな形（可能性）が感じられました。とは言うものの、やはり子どもたち一人一人の顔を見ながら話をしたいという思いはあります。ただ、こういう時だからこそ、出来ないではなく、出来ること（ICT機器等の活用など）をしていきたいと思えます。

最近ニュース等で、「オンライン授業」という言葉を耳にすることがあります。オンライン授業とは、インターネットに接続されたパソコン等を使って、教員が講義を行い、学習者が受講することによって、学校（教室）に集まらないで授業を受けることです。

本校では、今までにも1年生を迎える会や児童会役員選挙、今回の始業式など、各教室をパソコンで繋ぎました。各教室での接続は教員で行いましたが、校内のネット環境がダウンしたり、接続方法に手間取ったりと、まだまだ完璧ではありません。学級内でも子どもたちのパソコンを繋いで授業を始めていますが、なかなかスムーズにいかない場合もあります。上手くいかないのはパソコンに問題があるのでしょうか？実は、パソコンに命令を出しているのは、私たちです。パソコンがミスをするのではなく、操作する側のミス（ヒューマンエラー）です。Windowsのパソコンですから起動に少し時間がかかります。完全に起動する前に、アイコンを複数回クリック（命令）してしまうことで上手く起動しなくなることも見受けられます。実際に操作（経験）することで、対処方法などを身に付けていくことが大切です。

まず学校では、学校のネット環境下で、出来ることを繰り返し指導していきます。タブレットパソコンを起動（IDやパスワードの入力）して、国語と算数のドリルやソフト（アプリ）の活用、ネット検索、写真撮影にQRコードの読み取りなど学年に応じて出来ることを増やしていきます。

今後、有事の際にタブレットパソコンを持ち帰ってオンライン授業がすぐに出来る訳ではありません。その前に越えなければならないハードルがいくつかあります。児童、家庭、教員等でクリアしなければいけないもの（環境とスキル）があります。



高学年でも、子どもたち自身がWi-Fiに接続できる人はあまりいないと思えます。また、Wi-Fiも高速回線であるかどうかにより繋がった後の動きが異なります。環境があっても接続する方法が分からなかったりする場合もあります。一度ご家庭のWi-Fi環境や接続方法の確認もしていただければと思います。その際は、ご協力よろしくをお願いします。



何より、環境が整った後に何をするのか、教師側の課題も研修等を重ね技量を向上させていきたいと思えます。

← 最終、バーチャルな教室で健康観察や授業が出来るといいですが…（校内研修より）

## ボランティアさんやゲストティーチャーとの結びあい、学びあい、支えあい



5年・認知症サポーター養成講座



1・2・3年・読み聞かせ